

# 2020年度愛媛県がん相談員研修会オンライン QA 研修 「相談対応の質保証(QA: Quality Assurance)を学ぶ」 活動実施報告書

記載者:松岡誠子

## I. 企画概要

### 1. 企画名

2020年度愛媛県がん相談員研修会  
オンライン QA 研修「相談対応の質保証(QA: Quality Assurance)を学ぶ」

### 2. 主催

愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会 がん相談員研修ワーキング

### 3. 目的

- ・がん相談支援センターにおける PDCA サイクル確保の一環として、相談対応の質保証と向上のための観点を学ぶ。
- ・また、これらの学びを施設で活用し、施設の相談対応の質向上に還元できる人材の育成を目的とする。

### 4. 講師

国立がん研究センター がん対情報センター 八巻知香子先生

### 5. 協力(広報、ファシリテーター)

香川県がん診療連携協議会、高知がん診療連携協議会、徳島県がん診療連携協議会

### 6. 開催日時

2020年11月14日(土)13:00~17:00

### 7. 開催方法

オンライン研修(Zoom)  
(発信ホスト会場)四国がんセンター 患者・家族総合支援センター3階  
愛媛県松山市南梅本町甲160番地 (TEL)089-999-1209  
(講師リモート会場)国立がん研究センター がん対策情報センター

### 8. 受講対象者(受講定員30名、受講者33名、欠席1名)

- ・愛媛県内を中心に全国の拠点病院・がん診療連携推進病院のがん相談支援センター相談員
- ・がん相談に従事する相談員(医師、看護師、MSW、心理士等)

#### 【受講者33名の内訳】

(施設別)県内18名(拠点病院15名、推進病院3名)、県外15名  
(職種別)看護師14名(県内6名、県外8名)、MSW18名(県内12名、県外6名)、他1名(県外1名)

### 9. 参加条件

- ・ZOOMを用いたオンライン研修に参加でき、1人1台のデバイス機器(PC、タブレット)が用意できる方
- ・安定したネットワーク接続環境が準備できる方  
(受付後案内)
- ・研修に集中でき、グループディスカッションの参加に支障(顔や表情が映らない、発言の際の音声がかた聞こえない等)がないような静かな個室などの環境を準備するなど、オンライン受講における事前オリエンテーションを案内した。

### 10. 内容

#### 〈学習目標〉

- ① がん相談対応評価表(以下「評価表」)の活用方法、目的、意義、ルールを理解する
- ② グループワークでは互いの意見を尊重し合い積極的に参加する
- ③ グループワークで得た学びを自己の相談対応の改善に適用する
- ④ 評価表を活用したディスカッションにおけるルールを遵守することの重要性を学ぶ
- ⑤ がん相談支援の質の管理と維持に必要な課題を説明する
- ⑥ 施設や地域で相談対応の質の向上を図るための課題を具体的に討議し、今後の取り組みを考える

- 13:00～13:12(12)オリエンテーション(1) 開会挨拶  
 愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会長  
 四国がんセンター 患者・家族総合支援センター長 灘野成人氏
- 13:14～13:45(30) 講義①がん相談対応評価表:目的・意義・ルールを理解する
- 13:45～13:50(5) オリエンテーション(2) 自己紹介、アイスブレイク、GWの役割分担について
- 15:50～14:10(20)自己紹介:氏名、参加県、所属、職種、コロナ禍で最近始めたこと、幸せを感じたこと&私の「いいね!ポーズ」を紹介  
 アイスブレイク:各グループで「いいね!ポーズ」賞を決定する。(本日のディスカッションで“いいな”とか“なるほど”と思うポイントがあった際に「いいね!ポーズ」を使う)
- 14:10～15:25(75) グループディスカッション① 評価表を利用した意見交換
- 15:25～15:50(25) 全体共有①
- 15:50～16:00(10) 休憩
- 16:00～16:25(25) 講義②「がん相談支援の質」を考える～組織における品質管理と品質保証～
- 16:25～16:40(15) グループディスカッション②  
 自施設や地域で取り組める内容についての意見交換
- 16:40～16:53(13) 全体共有②・質疑応答
- 16:53～17:00(8) アンケート記入案内・挨拶・事務連絡等

#### 11. 事前課題

本研修では、受講者が事前課題に取り組む必要がある。事前課題は、受講予定者宛に事前事務連絡と合わせて連絡する。取り扱い事例:3 事前にメールで案内した。

#### 12. 事前・接続テスト

本研修では、事前に別途案内し、11月5日の11時～と11時15分～、13時30分～と15時45分、追加で15時30分～と16時30分～行い、23名は事前に実施できた。残り11名は研修当日の11時～と11時15分～に開催した。休日のため自宅からの受講者が多かったためやむをえなかったが、当日の接続テストのZoomミーティングは当日研修事前打ち合わせのZoomミーティングとは別立ての案内の方がメインホストの混乱なくすすむことが分かった。

#### 13. Ⅲ群登録

本研修は、国立がん研究センターが実施する「認定がん専門相談員制度」におけるⅢ群研修の単位認定申請を行い承認された。

#### 14. 事務局スタッフ(6名)

メイン会場:愛媛大学医学部附属病院 塩見美幸、済生会今治病院 松岡誠子  
 四国がんセンター 福島美幸、石川宏昭(情報部)、安宅麻美弥(事務局事務)

リモート:香川大学医学部附属病院 三木晃子

## Ⅱ. ワーキングの打ち合わせ・振り返り会

### 打ち合わせ会(11:00～11:46) 振り返り会(17:10～17:45)

#### 1. 研修全体と運営について

- ・参加者やファシリテーターが研修に慣れており安定した研修であった。
- ・これまでの四国ブロックの取り組みの蓄積が実ったことを実感できる研修であった。
- ・事務局・運営についても安定した運営であった。
- ・運営面でもこれまでの四国ブロックの取り組み蓄積が活かされた。今後も県をまたいで協力体制をとる事で新たな研修が開催できるのではないかな。
- ・ZOOMの操作が会の運営・進行には重要になる。
- ・必要な事務局のスタッフ数や役割分担など、今回の研修の経験を次回の研修に活かすことができたらよい。
- ・研修開催時まで、欠席者の確認ができなかった。(開始直前にメールで連絡が来ていたが確認できていなかった)
- ・ネットワークの脱落者がいなかったのが良かった。

## 2. 講義について

打ち合わせ会で、全体の進行や講義のポイントについて、八巻先生から説明していただいた。

## 3. グループワークについて

### 【打ち合わせ会】

- ・後半しっかり議論する。(12~14を議論してニーズにつなげたほうがより深まる)
- ・ディスカッションに入るタイミングや残り時間などをブロードキャスト機能を使用し、ブレイクアウトルームにアナウンスすると進行の開きが防げる。
- ・批判に終始せず、良くできた部分や代替案(こうすればもっとうまくいくのではないか)などの意見が出ればよい。

### 【振り返り】

- ・休憩は殆どのグループがとらなかった。
- ・全体的に事例のニーズを深め多面的な見方が出来ていた。
- ・最初にケースの印象を確認すればよかった。
- ・メンバーの反応が無いような気がして、焦りもあったが、「いいねポーズ」が役に立った。
- ・Web研修でのファシリに慣れていないので、自分の言葉が多くなってしまった。
- ・同じ事例を2回すると、前回と違った気づきがあり新しい学びがあった。
- ・メンバーの反応を確認するのが難しかった。
- ・ファシリが途中抜ける事態もあったが、ファシリサポーターがしっかりと役割を果たされていた。
- ・「いいね ポーズ」を利用する余裕が無かった。
- ・時間管理が難しく最後までできなかったが、ニーズや主訴は深めることができた。
- ・評価表を進める事が気になり全体の雰囲気のみたり意見を共有するなどの余裕がなかった。
- ・ファシリ自身の学びにもなった。
- ・研修経験者の意見が進行に役立った。
- ・サポートメンバー(武田さん・川中さん)に助けられる事(雰囲気作り・時間管理・言葉かけなど)が多かった。
- ・初めて使用する人も多かったので、評価表の記入の仕方を皆で話し合った。
- ・他のグループの様子が分からないので不安であったが、事務局スタッフが巡回してくれるので心強かった。
- ・ファシリが事例を読み込んで臨まれていて、参加者と共にやり取りして落ち着いてファシリテーションができていた。

## Ⅲ. アンケート調査集計 ※詳細は添付資料参照(国立がん研究センターのアンケート)

### 1. 受講者背景 ※より抜粋

- ・病院の種類の内訳は、総合病院が56.3%、がん専門病院と大学病院が37.6%をしめた。(資料-I)
- ・主たる資格別(複数回答)でみると、59%が社会福祉士、37%が看護職(認定看護師・看護師・保健師)、その他(臨床心理士・精神保健福祉士)が16%であった。(資料-I)
- ・がん相談経験年数は、5年未満が19名、5年以上20年未満が12名であり、研修参加の動機(複数回答)は、「職務上必要と感じた」72%「自己研鑽」72%が上位を占めた。(資料-I)
- ・QA研修に初めての参加者が65.6%であった。また、オンライン研修が初めての参加者が31.3%、オンライン会議が初めての参加者が37.5%という結果であったが「Ⅲオンライン研修全般について」の項では、オンライン研修の利点を評価する回答が多く、今後もオンライン研修に積極的に関わろうという意見も多かった。(資料-II・Ⅲ)

### 2. 研修目的の理解・満足度 ※より抜粋

- ・オンライン研修については「満足している」が96.9%と満足度が高く、「今後のオンライン研修への参加希望」の問いでは「参加したい」が90.6%、「オンライン研修を人に勧めるか」の問いには「勧める」が93.8%を占める結果であった。(資料-X)
- ・受講前と受講後の意識の変化をみる質問(資料-IV・V 資料-VIII・IX)では受講後に質保証についての取り組みや向上の為の観点について、今後具体的に取り組みを検討したいとの回答の割合が増えてお

り、参加者の置かれている体制など職務環境による違いはあるものの、参加者に研修目的は理解されていたと考える。

### 3. 受講者からの意見（※より抜粋&受講者から聞き取り）

#### 【良く分かった・印象に残った点】

- ・モニタリングによる気づきが大きい。内規が大切。相談対応の質評価の必要性。
- ・相談員としての業務、あるべき姿を再確認できた。
- ・グループワークで自分と違う視点を知る事ができ視野が広がった。
- ・相談対応評価表の項目の意味は理解できた。良い事も含めた振り返りに活用できる。
- ・振り返りが大事。
- ・相談者の言葉を整理しどう返していくか、感情や現状をどうアセスメントしていくかを意識出来るようになったと感じた。
- ・相談対応の質保証は、個人の問題でなく、組織として取り組む必要がある事が理解できた。
- ・がん相談支援センターの目指すものが明確化され相談対応の質保証の取り組みについて学べた。
- ・自宅にいながら全国の方と話ができてオンラインならではの研修のメリット・質の良さを実感した。
- ・WEBでもグループワークが出来ることに驚きを感じた。

#### 【理解しにくかった点】

- ・質疑応答の時間が無かった。
- ・事前課題の評価表を付けることが難しかった。1か0かで評価するのが難しい。
- ・医療の事をどこまで話すのがいいのか難しさがある。
- ・免責について相談者に何をどれくらいいい伝えたらよいか。

#### 【全体を通して】

- ・ファシリテーターが初めにメンバーのQA研修受講回数を伝えてくれたのでグループの状況把握が出来て良かった。
- ・初めてのZOOM研修であったが、事前のメールや添付資料が分かりやすく、問題なく最後まで受講する事ができた。
- ・ずっと画面を見ているので目が疲れて最後の方が画面を見るのが辛かった。
- ・定期的なQA研修の参加が大切。
- ・ファシリテーターが全員の意見が聞けるように話しやすい雰囲気を作ってくれて大変よかった。
- ・「参加してよかった」と思える研修内容であった。
- ・今回の気づきを大事にして施設内の振り返りも大事にしたい。
- ・自施設以外の他職種との意見交換もできて面白かった。
- ・数回受講する事で必要性や内容理解につながっていることを実感できます。継続できると助かります。
- ・研修前の事前接続テストは良かったが、予定時間ちょうどにつながらず不安になった。「接続に時間がかかる事があります。予定時間0分過ぎても繋がらない場合には連絡してください」と案内があると安心できた。

#### 4. その他（※より抜粋&受講者から聞き取り）

- ・参加者の意見からは、事前オリエンテーションや、わかりやすい事前資料の配布、安心を促すアナウンスなどが重要でWEB研修に慣れない参加者の緊張感が緩和されることがわかる。
- ・ファシリテーターの声かけや促しは、参加者の緊張感を緩和し、発言しやすい雰囲気作りに重要。

#### IV. 今後の展望

今年度は新型コロナウイルスの影響で愛媛県がん相談員研修を1回しか開催できなかった。コロナの感染状況によるが、WEB研修か集合研修いずれかの形で、来年度も愛媛県相談員の質向上を目標に研修会の開催を継続していく。

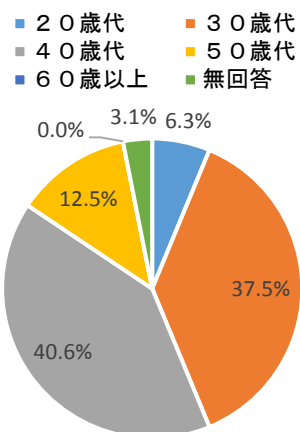
また、四国各4県でのQA研修は今回の開催で一巡し終了した。今回の経験を活かし、今後もQA研修の継続開催、または、他のテーマでの研修会を四国4県共同のWEB研修会についても検討していきたい。

愛媛県 「相談対応の質保証を学ぶ」研修 参加者アンケート結果  
2020年11月14日開催（回答者：32名）

I. ご自身について

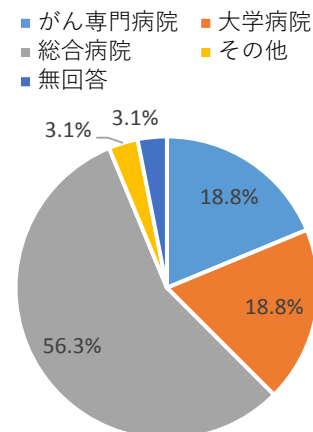
◆年齢

	回答数
20歳代	2
30歳代	12
40歳代	13
50歳代	4
60歳以上	0
無回答	1
合計	32



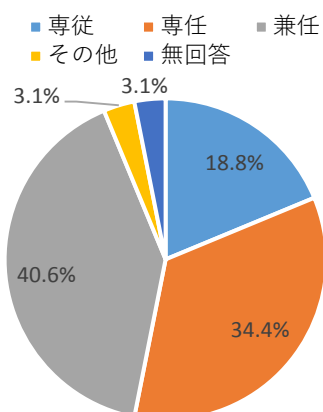
◆病院の種類

	回答数
がん専門病院	6
大学病院	6
総合病院	18
その他	1
無回答	1
合計	32



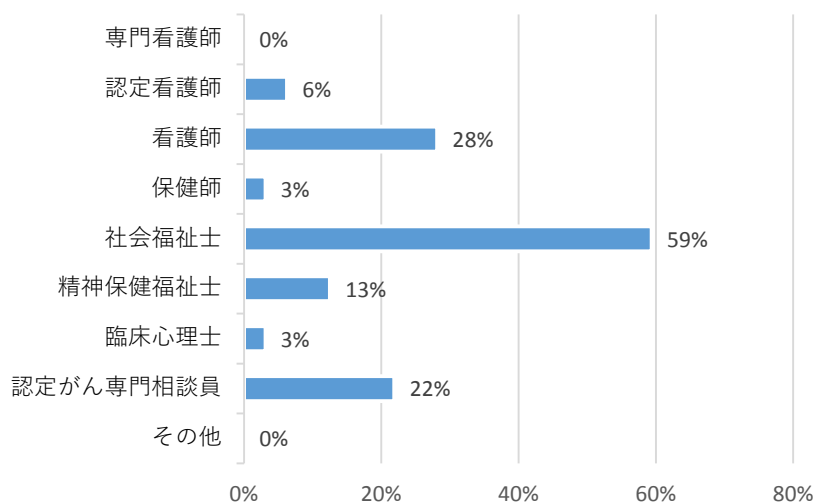
◆がん相談従事形態

	回答数
専従	6
専任	11
兼任	13
その他	1
無回答	1
合計	32



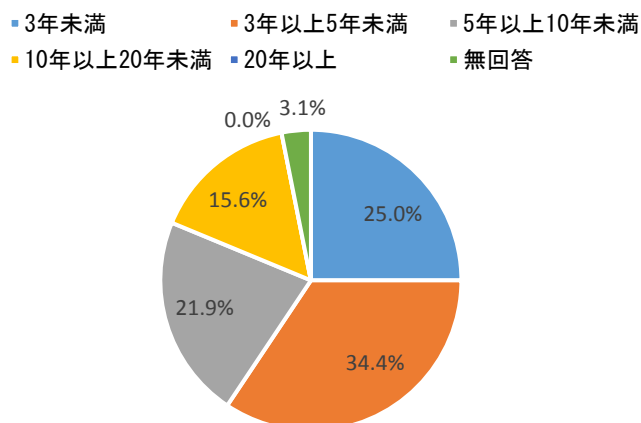
◆主となる資格（複数回答可）

	回答数
専門看護師	0
認定看護師	2
看護師	9
保健師	1
社会福祉士	19
精神保健福祉士	4
臨床心理士	1
認定がん専門相談員	7
その他	0
合計	43



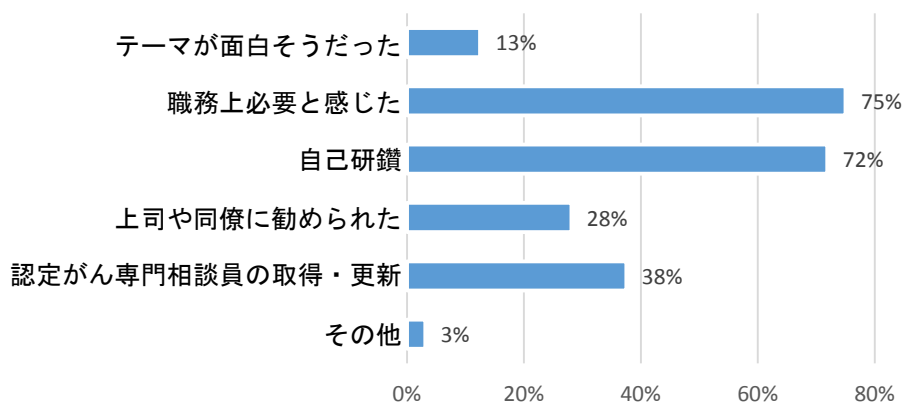
◆がん相談経験

	回答数
3年未満	8
3年以上5年未満	11
5年以上10年未満	7
10年以上20年未満	5
20年以上	0
無回答	1
合計	32



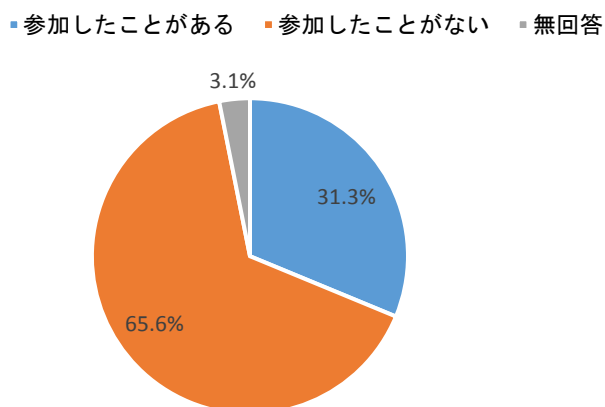
◆研修への参加理由（複数回答可）

	回答数
テーマが面白そうだった	4
職務上必要と感じた	24
自己研鑽	23
上司や同僚に勧められた	9
認定がん専門相談員の認定取得・更新のため	12
その他	1
合計	73



◆評価表を用いた「相談対応の質保証を学ぶ」研修の参加経験

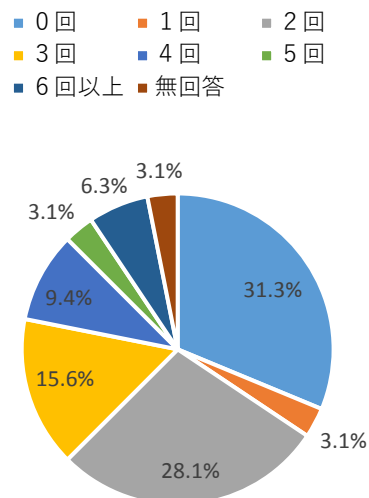
	回答数
参加したことがある	10
参加したことがない	21
無回答	1
合計	32



Ⅱ. これまでのオンライン研修や会議（仕事・プライベート含む）への参加経験について

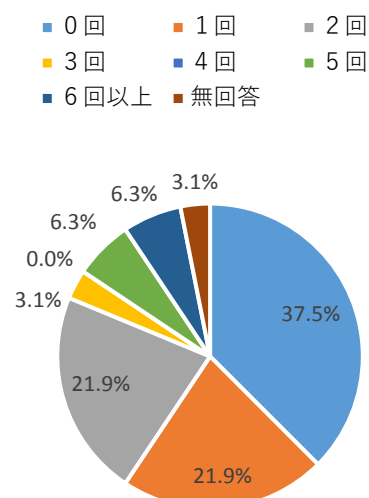
オンライン研修への参加経験

	回答数
0回	10
1回	1
2回	9
3回	5
4回	3
5回	1
6回以上	2
無回答	1
合計	32



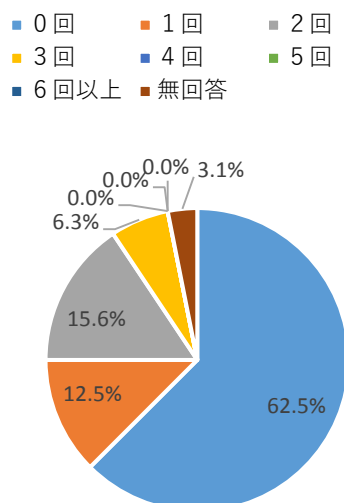
オンライン会議への参加経験

	回答数
0回	12
1回	7
2回	7
3回	1
4回	0
5回	2
6回以上	2
無回答	1
合計	32



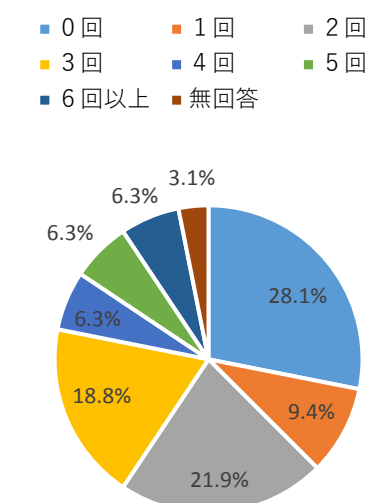
オンライングループワークの経験

	回答数
0回	20
1回	4
2回	5
3回	2
4回	0
5回	0
6回以上	0
無回答	1
合計	32



Zoom利用経験

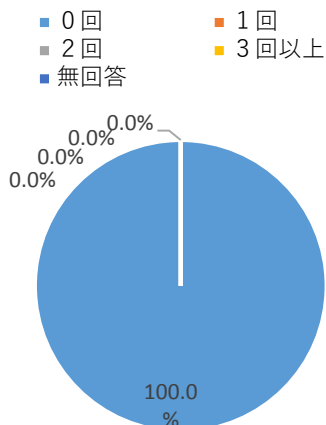
	回答数
0回	9
1回	3
2回	7
3回	6
4回	2
5回	2
6回以上	2
無回答	1
合計	32



※Zoom利用経験のある22名を対象としています。

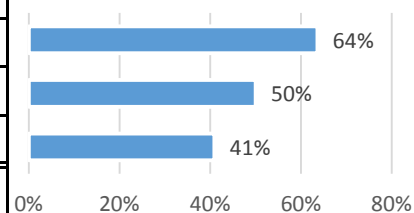
Zoomでのホストの経験

	回答数
0回	22
1回	0
2回	0
3回以上	0
無回答	0
合計	22



Zoom諸機能の利用（複数回答可）

	回答数
チャット機能	14
挙手機能	11
画面共有機能	9
合計	34

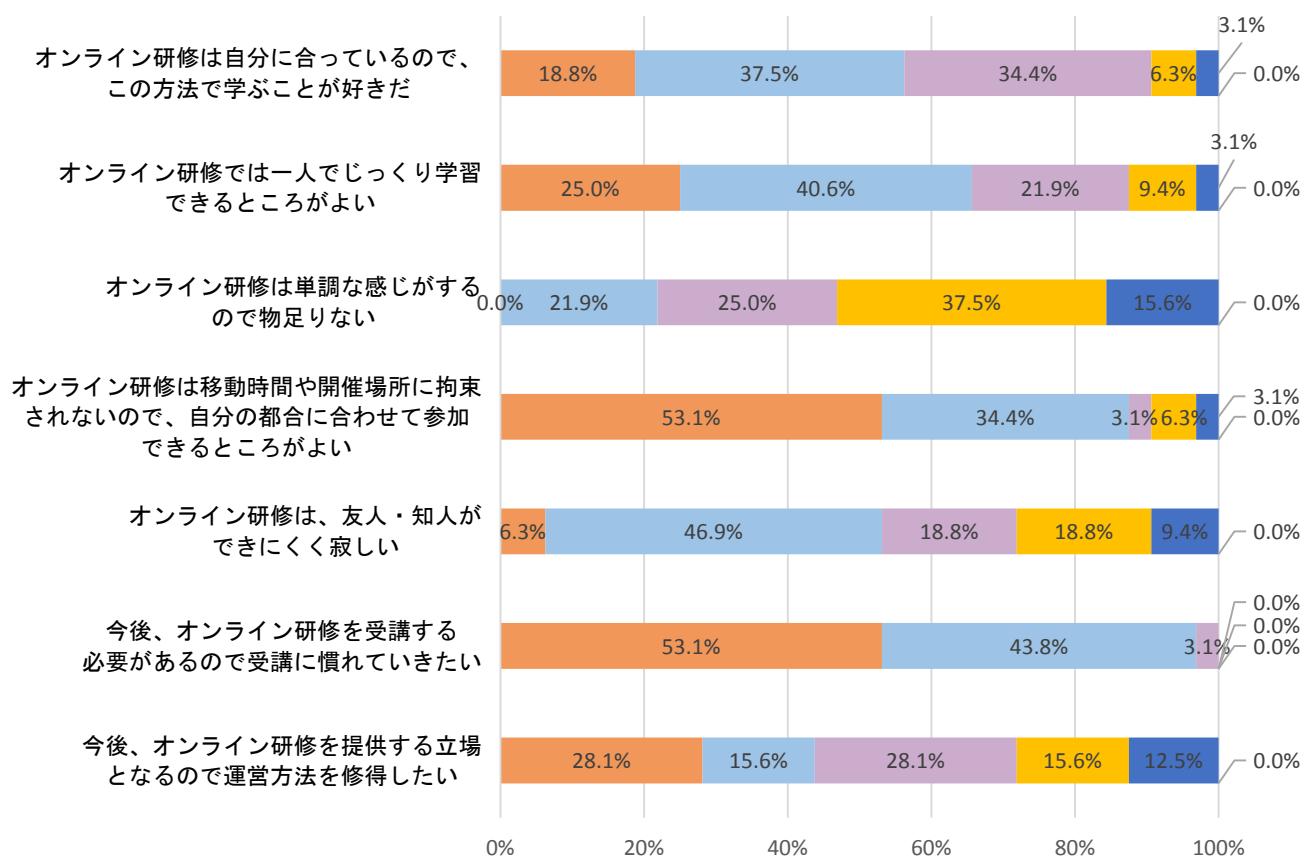




Ⅲ. オンライン研修全般について

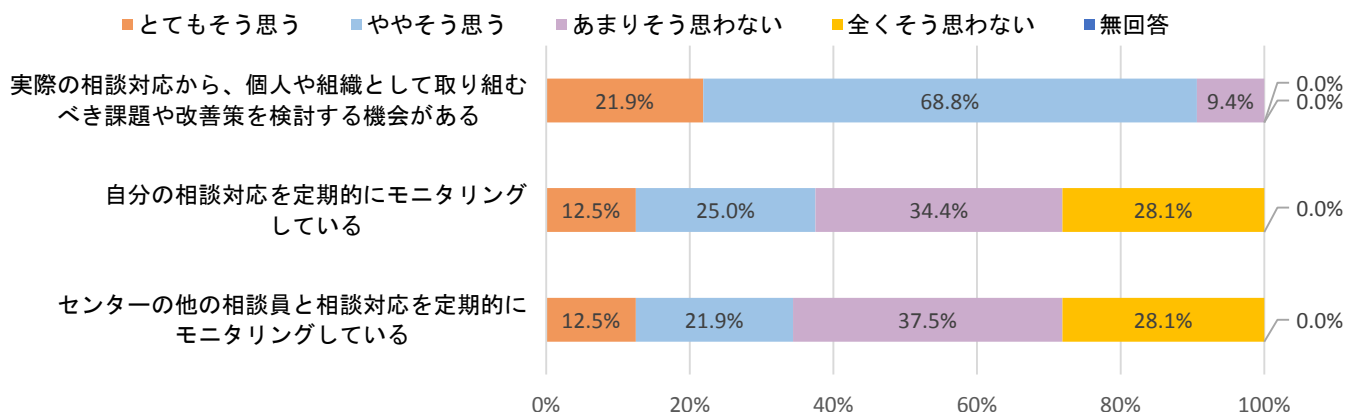
	とても そう 思う	やや そう 思う	どちら ともい えない	あまり そう思 わない	全く そう思 わない	無回答	合計
1) オンライン研修は自分に合っているので、この方法で学ぶことが好きだ	6	12	11	2	1	0	32
2) オンライン研修では一人でじっくり学習できるところがよい	8	13	7	3	1	0	32
3) オンライン研修は単調な感じがするので物足りない	0	7	8	12	5	0	32
4) オンライン研修は移動時間や開催場所に拘束されないので、自分の都合に合わせて参加できるところがよい	17	11	1	2	1	0	32
5) オンライン研修は、友人・知人ができにくく寂しい	2	15	6	6	3	0	32
6) 今後、オンライン研修を受講する必要があるので受講に慣れていきたい	17	14	1	0	0	0	32
7) 今後、オンライン研修を提供する立場となるので運営方法を修得したい	9	5	9	5	4	0	32

■とてもそう思う ■ややそう思う ■どちらともいえない ■あまりそう思わない ■全くそう思わない ■無回答



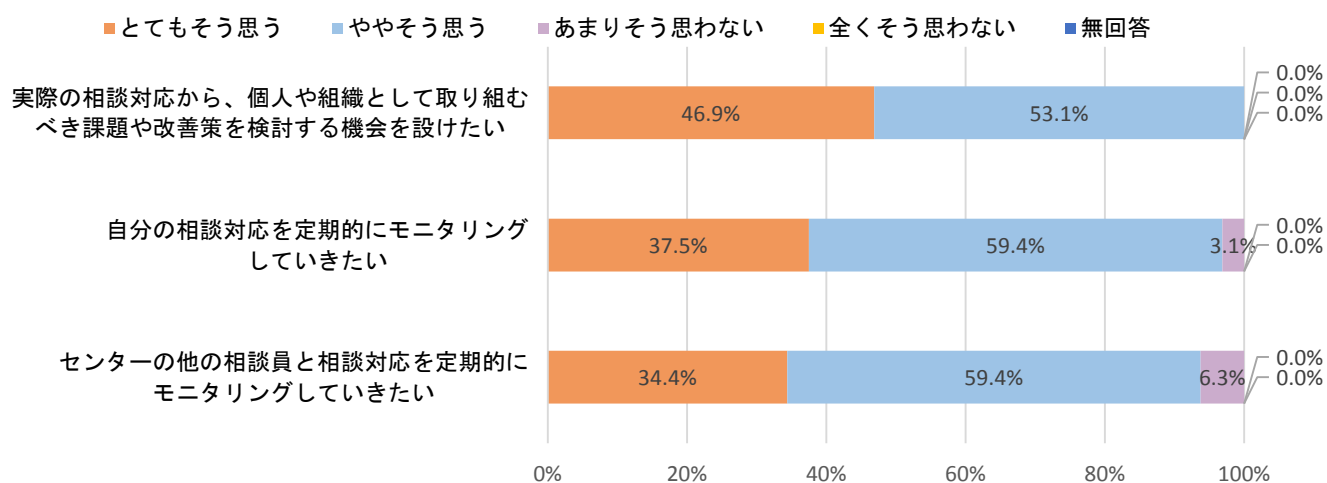
IV. 現在のご所属の相談支援センターにおける質保証の取り組みについて

	とても そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	無回答	合計
実際の相談対応から、個人や組織として取り組むべき課題や改善策を検討する機会がある	7	22	3	0	0	32
自分の相談対応を定期的にモニタリングしている	4	8	11	9	0	32
センターの他の相談員と相談対応を定期的にモニタリングしている	4	7	12	9	0	32



V. 今後の相談支援センターでの質保証の取り組みについて

	とても そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	全く そう 思わない	無回答	合計
実際の相談対応から、個人や組織として取り組むべき課題や改善策を検討する機会を設けたい	15	17	0	0	0	32
自分の相談対応を定期的にモニタリングしていきたい	12	19	1	0	0	32
センターの他の相談員と相談対応を定期的にモニタリングしていきたい	11	19	2	0	0	32



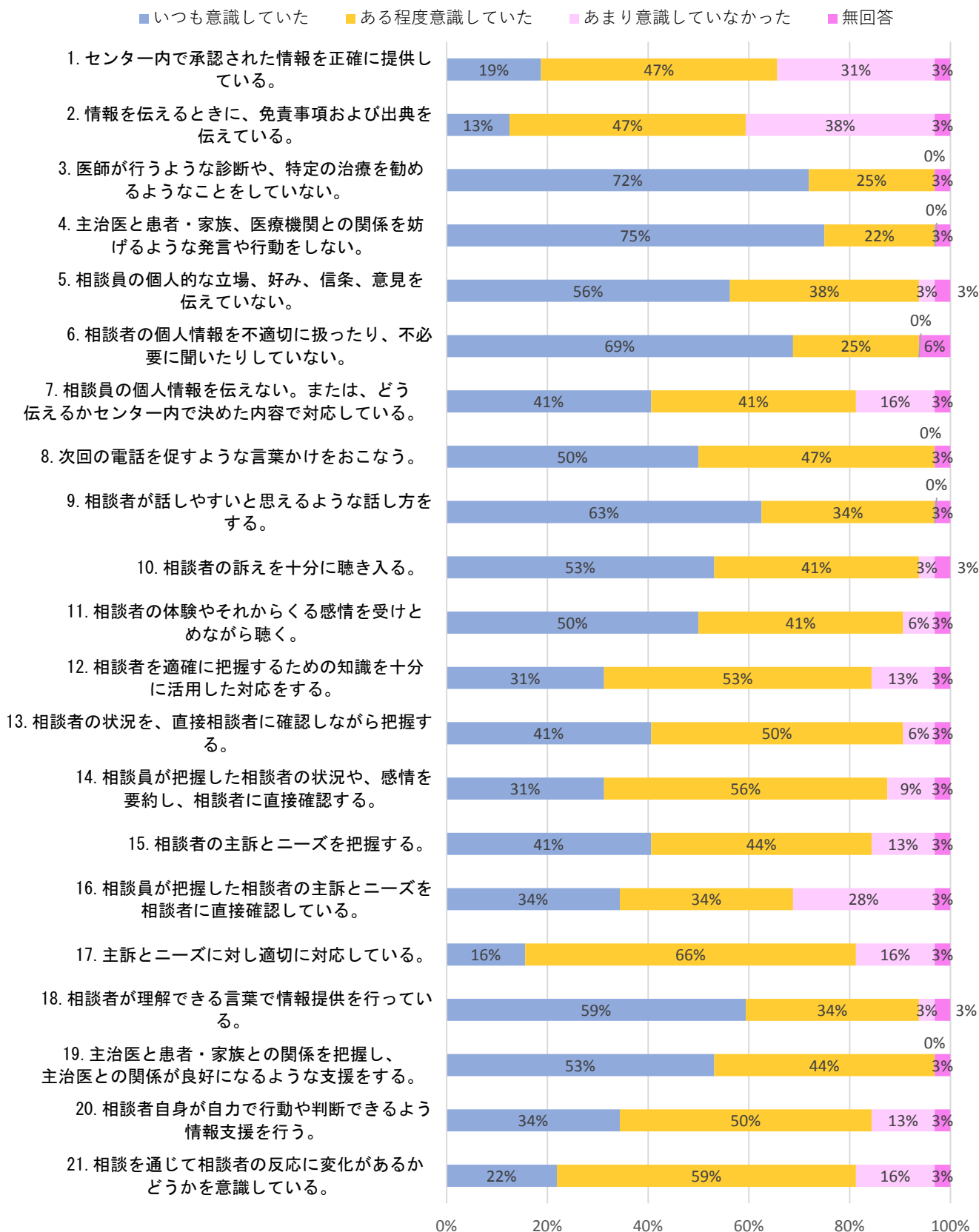
## VI. 本日の研修の中で、「よく分かった」「印象に残った」と感じた点

- 1) ファシリテーターの進行がわかりやすくスムーズで、初めてのZOOM研修でしたが、とても有意義な時間となりました。
- 2) 内規が大切だということ
- 3) モニタリングによる得られる気付きが大きいこと。録音機能がなくても定期的なミーティングなどで事例検討によるモニタリングをしているところもあり参考になりました。
- 4) 模擬事例だけでたくさんの意見があった
- 5) オンラインでのグループワークは初めてでしたが、自宅にしながら全国の方とお話ができオンラインならではの研修のメリット、質の良さを実感できました。久しぶりにQA研修を受けたことで、相談員としての業務、有るべき姿を再確認できました。意識付けが大切なので、日々、今日の研修を思い出していきます。
- 6) WEBでもグループワークが実施できることに驚きを感じた。
- 7) 自分は相談者についてしかとらえられていなかったが、ほかの研修生は家族との存在や関係性にも注目されていて、視野が広がった
- 8) 評価表を作成したが、グループワークを通して自分とは違う視点で意見交換できた。支援の質においてもPDCAサイクルを回していくことの必要性を再認識した。
- 9) 相談対応の質評価や必要性
- 10) 相談対応評価表の項目の意味を理解できた。良かったことも含めた振り返りにも活用できる。
- 11) 吐き出したいことを余さず吐き出すことができるように、かかわることの重要性を実感しました。
- 12) zoomでのグループワークが初めてだったのでとても緊張していましたが、ファシリテーターの方が優しく一気に緊張がほぐれました。
- 13) 振り返りが大事、いろいろ視点があって勉強になりました。
- 14) 漠然とした不安をもつ患者の訴えや話したい気持ちに対してどこまで付き合えばいいのか、正解はないと先生がおっしゃられたことが印象に残りました。グループワークでニーズについての話し合いで、『一緒に不安を整理してほしい』という意見があり、漠然とした不安をアセスメントして戻していくことと、話したい気持ちを受け止めることの両方を相談員は認識して対応していくことも大事なことだと感じました。
- 15) 印象に残った事はやはり人が違えば感じ方、捉え方が違うということです。自分にはなかった捉え方や気付きを発見できるところが面白かったです。反面、相談対応の質の担保に関して考えるところが大きかったです。
- 16) 相談者の言葉を整理して、どう戻せるか感情や、現状の要約について、もっと意識的にできる様になりたいと感じました。
- 17) 日々の面談や電話面談など、自分が相談者にどのような声掛けをしているのか、振り返る必要があるため、日々の支援を振り返って積み重ねていくことが大切だと感じました。
- 18) 相談対応の質保証は、個人の問題ではなく、組織として取り組む必要性がある事についてよく理解できました
- 19) がん相談支援センターのめざすものが明確化され、相談対応の質保証のための取り組みについて知ることができました。
- 20) 評価表の書き方と評価表を用いて主訴からニーズの導き方

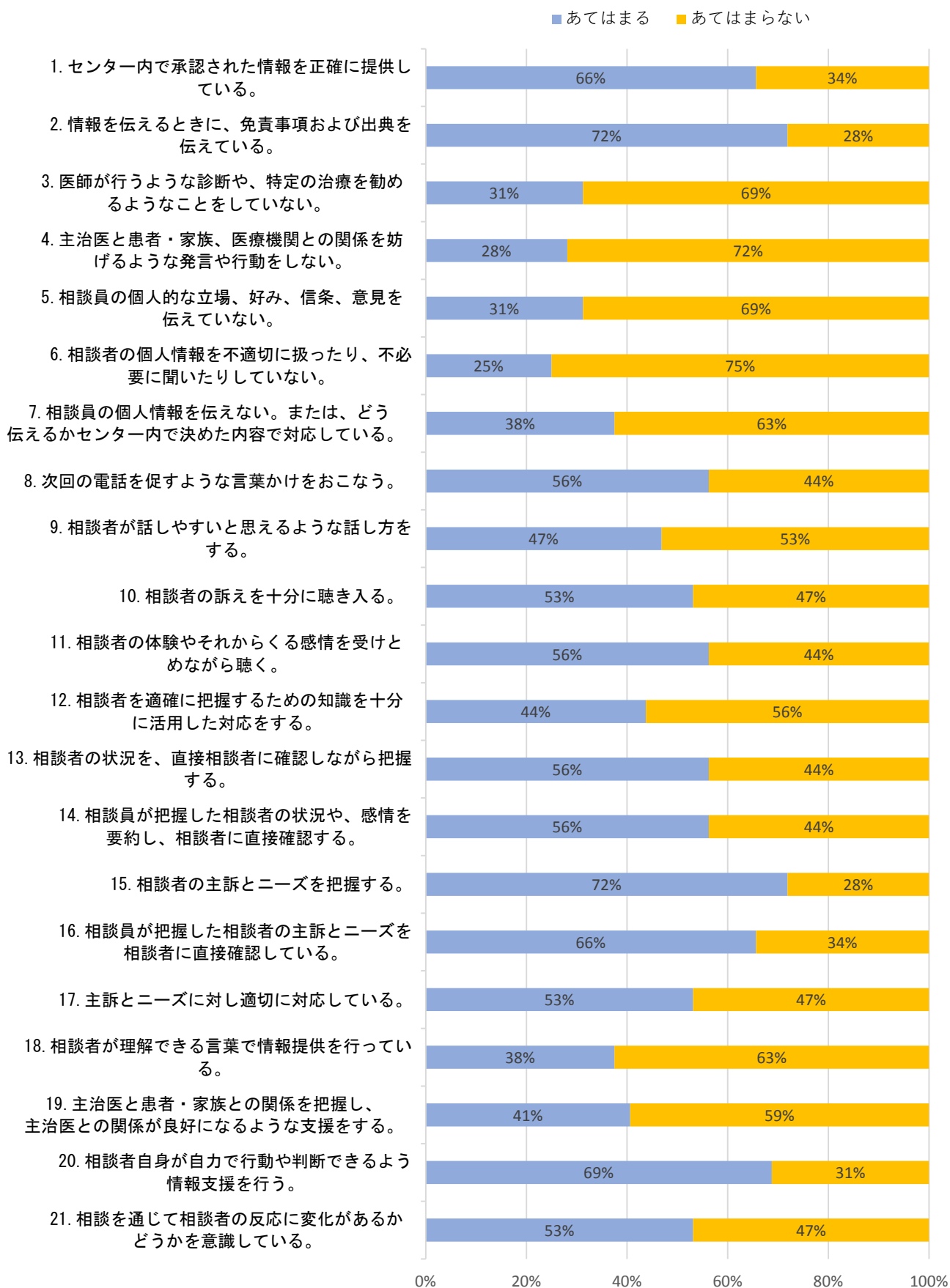
## VII. 本日の研修の中で、「理解しにくかった」と感じた点

- 1) 質疑応答の時間がなかった
- 2) 事前課題の評価表をつけることが難しかった。
- 3) 1か0で評価するのが難しい
- 4) 特になかった。わかりやすかった。
- 5) 評価表のⅢ相談の総合評価の記入
- 6) 一般的な情報提供と、相談者個人に合わせた情報提供の考え方。
- 7) Core Valuesを初めて知ったので、振り返りが必要だと感じました。
- 8) 医療のことをどこまで話すのがいいのか難しさを感じた。
- 9) 免責に関して、相談者に、何をどれくらい伝えたらよいのか、今後も、施設規約を参考に、考えていきたい。
- 10) 特にありません。 2名

Ⅷ. これまで以下のことをどれくらい意識していたか



Ⅹ. 本日の研修を通じ、以下のことをどれくらい意識できるようになると思うか

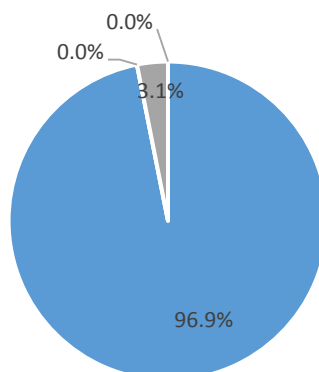


X. オンライン研修の満足度および今後同様のオンライン研修への参加希望などについて

今回のオンライン研修の満足度

	回答数
満足している	31
満足していない	0
どちらともいえない	1
無回答	0
合計	32

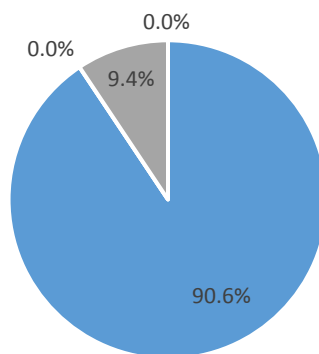
■ 満足している ■ 満足していない ■ どちらともいえない ■ 無回答



今後のオンライン研修への参加希望

	回答数
参加したい	29
参加したくない	0
どちらともいえない	3
無回答	0
合計	32

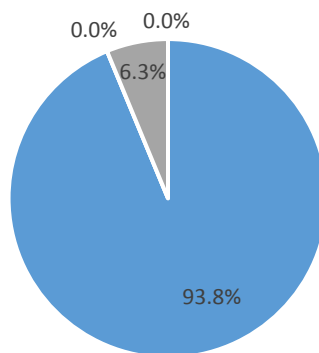
■ 参加したい ■ 参加したくない ■ どちらともいえない ■ 無回答



オンライン研修を人に勧めるか

	回答数
勧める	30
勧めない	0
どちらともいえない	2
無回答	0
合計	32

■ 勧める ■ 勧めない ■ どちらともいえない ■ 無回答



XI. その他、全体を通しての感想・ご意見

- 1) 準備から当日の運営までありがとうございました。初めてのZOOM研修でしたが、事前のメールや添付資料がわかりやすく、問題なく最後まで受講することができました。
- 2) 毎回相談記入シートの評価表の付け方がよくわからなかったのが今回大変勉強になりました。他の相談員とも共有して活用していきたいです。ありがとうございました。
- 3) すごく個人的な意見ですが、ずっと画面を見ているのですごく目が疲れて最後の方は画面を見るのが辛かったです。
- 4) 非常に参考になりました。ありがとうございました。
- 5) QA研修には今までに数回参加させていただいたことがありますが、そのたびに自身の対応の振り返りをしたいなと思いつつも、日々の業務でいっぱいになっていきます。グループワークのなかで、すでに取り組まれている病院の方はやはり第一歩は大変だったけど、始めてみてよかったとの感想を聞けたので、自分たちの病院でもできることから始めてみたいと思います。
- 6) 他県から参加させていただきありがとうございました。定期的なQA研修の参加が大切だと思いました。おつかれさまでした。
- 7) オンライン研修は、今までの研修と企画構成から変える必要があり大変だったと思います企画・運営して頂き、ありがとうございました参加してよかった、と思える研修内容でした
- 8) グループワークで全員の意見が聞けるように、また、話しやすい雰囲気を作ってください大変よかったです。（ありがとうございました）
- 9) オンラインでのグループワークを用いた研修への参加が初めてでしたので、不安な面もありましたが、事前に丁寧な操作ガイドやテストの案内、資料の添付をいただき、とても有意義な時間となりました。今回の研修を企画運営いただいた関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 10) お疲れさまでした。今回の気づきを大事にしたいと思いました。施設内の振り返りも大事にしたいと思います。
- 11) お忙しい中ありがとうございました。普段なかなかゆっくりと振り返りや意見交換の機会がないところもあり、自施設以外の他職種の方の話を聞いたり意見交換が出来て面白かったです。お疲れ様でした。
- 12) とても、楽しく研修受講できました。事務局の方、当日のファシリテーターさんのおかげです。ありがとうございました。
- 13) 数回受講する事で必要性や内容理解につながっている事を実感できます。継続できると助かります。
- 14) ありがとうございました 2名